

# 活動内容報告書

<b>団体名</b>	沖縄県難聴・中途失聴者協会		
直 近 3 か 月 の 活 動 報 告	2018年 11月 6・13 ・20日	平成30年度 浦添市きこえのサポート講座	
	2018年 12月 2・3日	浦添バリアフリーフットパス研修&屋富祖フットパス	
	2019年 2月 10日	平成30年度 沖縄県難聴者福祉講演会	

## 1) 平成30年度浦添市きこえのサポート講座

昨年度に引き続き、浦添市社会福祉協議会より委託を受け、全5回の講座形式でのきこえの集中講義を行いました。約20名の受講生と共に、浦添市手話言語条例成立の経緯と今後の展望の説明や、補聴器と人工内耳の特性、補聴援助システムの種類と活用、浦添市におけるきこえの社会資源等をワークを交えながら行い、参加者の方々から、今後も引き続き開催してほしいと好評を得ました。詳細は、会報誌に掲載した記事をご覧ください。

## 2) 浦添市内フットパスコースづくり研修事業

2018年12月2日と3日にかけて、沖縄県地域振興協会からの助成金を受け「浦添市内フットパスコースづくり研修事業」を行いました。1日目は浦添市内の観光名所をフットパス（街歩き）で歩きながら、浦添ようどれやカーミージ（亀瀬）等の歴史情緒あふれる原風景を参加者で楽しみました。

また、聴覚障害を持った参加者の方々に対し、情報保障として補聴援助システムの「Rogerシステム」と、リアルタイム音声認識アプリ「UDトーク」を併用するなど観光xバリアフリーの展望を描く事が

できました。2日目のフットパス研修では、熊本県より招聘した、日本フットパス協会理事の方々に約2時間に渡り、フットパスコースづくりの講義を行っていただきました。その際に、補聴援助システムのヒアリンググループと前述のUDトークを併用するなども行いました。

## 3) 平成30年度 沖縄県難聴者福祉講演会

2019年2月10日、沖縄国際大学を会場に当事者研究で広がる聴覚障害者の未来と題し、「平成30年度 沖縄県難聴者福祉講演会」を開催。約80名の参加者で会場が賑わいました。今回の福祉講演会では県外より講師を2名招聘し、講演会とワークショップ、全体会という3部構成で開催を。当事者研究における自己を見つめ、知り、語るというコンセプトを参加者の方々にしっかりと理解頂けた手応えを感じました。沖縄県難聴・中途失聴者協会としての福祉講演会は今回で最後となりますが、4月からのNPO法人としての活動において「聴覚障害者の当事者

## コメント

サンシャインゆいまーの寄付金のおかげで今年度も、様々な事業を実施することができ、沖縄県内における、難聴者・中途失聴者の支援を活性化することができました。本当にありがとうございます。

2019年4月1日より、法人として代表者、役員体制、事務所等を一新して気持ち新たにきこえ支援の活動に取り組んでまいります。

引き続き、ご理解とご協力を頂けますと幸いです。どうぞよろしく願いいたします。活動写真は添付ファイルの形で送信致しますのでご確認下さいませ。